

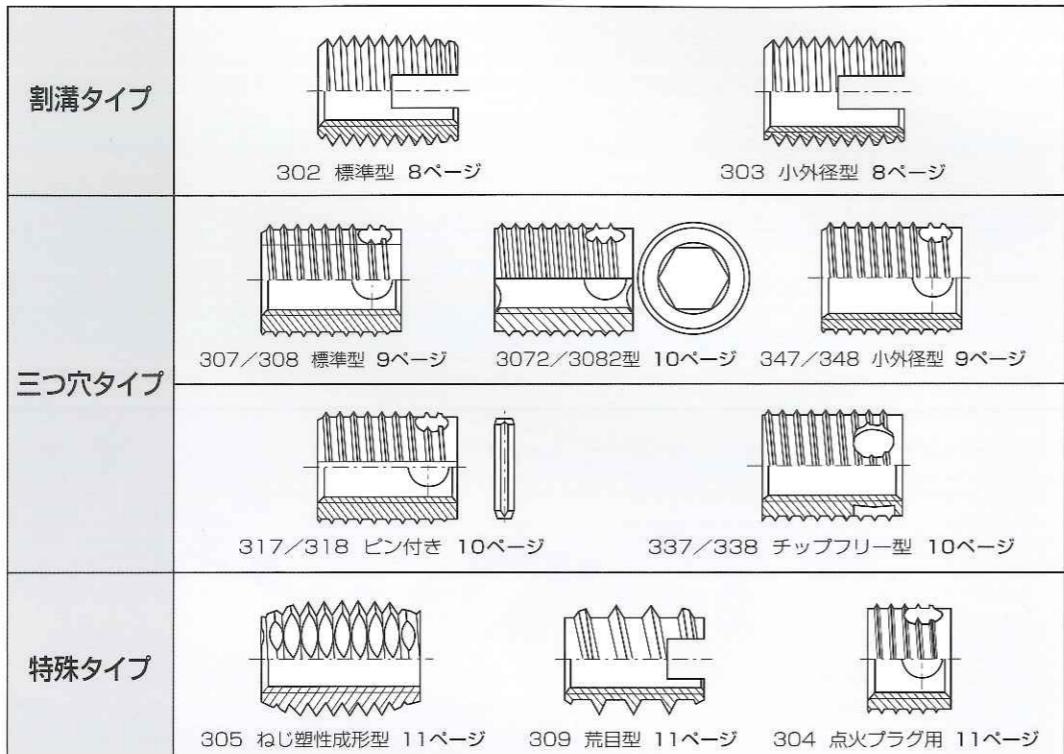


Ensat^{®®} エンザート
セルフ・タッピング・インサート
——タップ作業不要——



Ensat

セルフ・タッピング・インサート - タップ作業不要 -



用途

- エンザートは主に直タップではねじバカを起し易いアルミ合金材及びプラスティック材全般に使用されるインサートナットです。
- 内径部と外径部との両方にねじを持ち、個体に割溝又は三つ穴式の切刃を備えたタッピング・インサートです。
- 比較的強度の低い素材のねじ部の機械的強度を補い信頼性の高い締結部品として機能します。

特長

- コイル型インサートとは違い、前タップの必要はありません。
- 前タップが不要であるだけでなく金属材料及び樹脂、木材に対してもセルフロック機能を持つため、ねじ部の着脱による緩みに強い特長があります。
- 又どの相手材に対しても求められる耐磨耗性と高い引抜き強さを得ることができます。(割溝(又は三つ穴)の間にあるねじ山はテーパ角によってクサビ形になっているためエンザートの逆回りを喰い止めるよう働きます。)

機械的強さ

- エンザートは機械的強度の低い相手材のねじ部を補強する目的で使われます。ねじ軸力をエンザートの外ねじ部の母材が支えるため、直タップねじより相手材の強度をより多く引出すことが出来ます。
- エンザートを使った補強は相手材個有のせん断強さ又は使用するボルトの機械的強さが限界となります。エンザートそのものが破壊することがありません。
- 少々のねじの締め過ぎでねじバカを起し易い樹脂材は多少オーバーな締付けトルクにも十分耐えるよう補強することが必要です。又ねじ締めと緩めの繰り返しによってねじバカを起し易いアルミ合金等はボルトの許容荷重にも耐えられる補強が求められます。
- エンザートは上記の要求を十分に満す性能を備えています。

[各タイプの特長と使い分け]

■エンザートは鋳鉄、アルミ合金、樹脂全般及び木材に広く使用できますが使用する相手材によりタイプを使い分ける必要があります。

■各タイプの特長を生かしてエンザートの機能を最大限に利用してください。

■小外径タイプは、標準タイプに比べて、内径同サイズの場合、各種強度が低下します。

302型

.....8ページ

割溝タイプ



.....8ページ

- 材質
 ●快削鋼、浸炭焼入、亜鉛メッキ、クロメート SUM22L (相当)
 ●ステンレス鋼 SUS430F (相当)
 ●ステンレス鋼 SUS303 (相当)
 ●真鍮 C3603 (相当)

- 汎用タイプで快削性のある鋳鉄、アルミ合金、可塑性の高い樹脂等に広く使用できます。
- 切刃の部分が長いのでどの相手材にもよく喰い付き作業し易い特長があります。
- 下穴が小さい場合や硬度の高い相手材に対しては切刃が加工面から浮く傾向がありピッチ遅れを生じたりボルト挿入が困難な場合があります。
- 難削性の高強度アルミ材やFRPのボス穴には向きません。
- 真鍮製は樹脂、木材用です。

303型

.....8ページ

小外径割溝タイプ



.....8ページ

- 材質
 ●快削鋼、浸炭焼入、亜鉛メッキ、クロメート SUM22L (相当)

※小外径用専用工具
 機械加工用6201型又はハンド加工用 6101型をお使い下さい。

- 肉厚が薄く外径が小さく作られています。
- 可塑性の高い樹脂の小型部品に適しています。
- 内ねじのピッチと外ねじのピッチと同じです。

307/308型

.....9ページ

三つ穴タイプ



.....9ページ

- 材質
 ●快削鋼、浸炭焼入、亜鉛メッキ、クロメート SUM22L (相当)
 ●ステンレス鋼 SUS430F (相当)
 ●ステンレス鋼 SUS303 (相当)

- 軟鋼、強度の高いアルミ合金及び割れ易い硬質樹脂に適しています。
- 外ねじの高さが低く肉厚が若干厚いため個体強度が高くなっています。
- ※超高強度鍛造アルミには使用不能の場合があります。

347/348型

.....9ページ

小外径三つ穴タイプ



.....9ページ

- 材質
 ●快削鋼、浸炭焼入、亜鉛メッキ、クロメート SUM22L (相当)

※小外径用専用工具
 機械加工用6201型又はハンド加工用 6101型をお使い下さい。

- 肉厚が薄く外径が小さく作られています。
- 快削性のあるアルミダイカストや割れ易い硬質樹脂の小型部品に適しています。
- 内ねじのピッチと外ねじのピッチと同じです。

317/318型

.....10ページ

ピン付きタイプ



- 材質
 ●快削鋼、浸炭焼入、亜鉛メッキ、クロメート SUM22L (相当)

- 307/308型にピンの付いたタイプです。
- 外周部の相手材にピン穴(半円分)をドリルしハンマーでピンを打ち込みます。
- 高振動部分の用途や高トルク締結でのエンザートの緩みを防止し、ボルトの着脱の頻繁な部分では戻しトルクを高める効果があります。

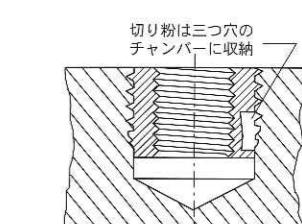
337/338型

.....10ページ

チップフリータイプ



- 材質
 ●快削鋼、浸炭焼入、亜鉛メッキ、クロメート SUM22L (相当)
 ●ステンレス鋼 SUS430F (相当)
 ●ステンレス鋼 SUS303 (相当)



- 外周部の三つ穴の切刃が止り穴になっており切り粉をここに封じ込めます。
- 食付き時に僅に切粉が外に出ますが大部分は三つのチャンバーに收まり切粉の後処理が不要です。
- 相手材が金属の場合下穴径は最大下穴径でご使用下さい (P5参照)

307 2 / 308 2型

.....10ページ

六角内ねじタイプ



- 材質
●快削鋼、浸炭焼入
亜鉛メッキ、クロメート
SUM22L（相当）
●真鍮 C3603（相当）
(受注生産品)

- プラスチック材にこの六角内ねじエンザートを使用すれば、リサイクル時に簡単に外すことができ、プラスチックと金属部品の分別処理が可能になります。
- 挿入工具との着脱は回転動作を伴なわず瞬時にできるため、加工作業が短縮できます。（6102型工具を使用の場合）
- 先端が六角形状の単純な専用工具で挿入作業ができます。又、従来のハンド加工用、機械加工用の工具も同様に使えます。
- 下穴の寸定深さまでエンザートが入れば挿入工具を反転させなくても、挿入工具はエンザートから抜き取ることができ、反転機構のないドリル等も使用できます。

309型

.....11ページ

超荒目外ねじタイプ



- 材質
●真鍮 C3603（相当）
●ステンレス鋼 SUS303（相当）
(M3～M5まで)

- 硬質、軟質木材、パーティクルボード及び軟質樹脂に使用できます。
- 通常はセルフタップで使用します。特に軟かい相手材には切刃（割溝）を上に向かねじ塑性成形として使用下さい。

305型

.....11ページ

ねじ塑性成形タイプ



- 材質
●真鍮 C3603（相当）

- 可塑性の高い樹脂全般に使用できます。
- 相手材側にめねじを塑性成形し切粉を出さないのが特長です。
- 金属材料には使用できません。

304型

.....11ページ

スパークプラグ専用



- 材質
●快削鋼、浸炭焼入、亜鉛メッキ、クロメート
SUM22L（相当）

- 点火プラグ専用のエンザートです。
- M14用とM18用があります。

【代表的な相手材と エンザートのタイプ】

相手材に適したエンザートのタイプを選ぶことはエンザートを効果的に使う重要なポイントです。
下記は一般的なガイドとして参照して下さい。

【金属材料】

■鋳鉄

- 快削性のある鋳鉄は快削鋼製の302型を使用下さい。
- タッポオイル又は切削油を使用すると効果的です。
- ステンレス製エンザートは相手材を十分切削できない場合があります。

■軟鋼

- 快削鋼製の307/308型をタッポオイルを使って使用して下さい。
- エンザート専用タップを併用することをお勧めします。
- 硬度の高い鋼材は加工が困難な場合があります。

■アルミ鋳物

- 快削性のあるものは302型を使用して下さい。
- 人工時効硬化したもの及び難削性のあるものは307/308型を使用下さい。

■アルミ型材

- 熱処理の有無や切削性を確認し難削材や高強度材は307/308型を使用して下さい。

■高強度アルミ

- 超高強度アルミには通常使用不能です。
- 敢えて使用する場合は307/308型を使用し、最大下穴径を開けた上でエンザート専用タップで、エンザートの長さの1/2～2/3程度の前タップを切る必要があります。（14ページを参照下さい）

■アルマイト処理したアルミ

- アルマイト処理をしたアルミ合金にはエンザートの使用は困難です。下穴の硬化部分を取り除くか、タップを併用すれば加工が可能です。

■ステンレス鋼、焼入れ鋼

- 通常はエンザートの使用は出来ません。
- 敢えて使用する場合は307/308型を使用し、最大下穴径を開けた上でエンザート専用タップで、エンザートの長さの1/2～2/3程度の前タップを切る必要があります。（14ページを参照下さい）

【プラスティック】

■可塑性の高い樹脂

- 塩ビ、デルリン、ABS等には302型又は305型を使用下さい。
- 305型は切粉が出ません。

■硬く割れ易い樹脂

- ポリエチレン、エポキシ、ポリカーボネート、FRP等には307/308型を使用して下さい。

【木材】

■軟質木材、パーティクルボード

- 309型をめねじ塑性成形として使用して下さい。

■硬質木材

- 302型又は309型を使用して下さい。

【下穴径の選定】

【下穴径参考値】

- エンザートの下穴径はタップ用の下穴径と違い様々な相手材の異なる被削性や加工性によって微調整する必要があります。
- 材料独自の加工性は数値で表せないため、それに代えて相手材の引張強さや硬度を基準に下穴参考値を決めています。（5ページの表）

【材料ハンドブックの強度表示】

- 材料ハンドブック等には規格材の強度や硬度の下限値の目安が記載されています。
- アルミニウムを例にとれば、実際の材料の引張強さは記載されている数値より20～30%高いのが実情です。このことも下穴を設定する際に考慮する必要があります。

△【熱処理されたアルミニウム】

- アルミニウムの熱処理は下穴径の選定に重要な影響があります。
- 熱処理の有無を必ず確認し熱処理がされている場合は処理後の強度を基準に下穴径を設定して下さい。

△【アルマイト加工されたアルミニウム部品】

- アルマイト加工されたアルミニウム部品の下穴はアルマイト処理後にあけてください。
- あらかじめ下穴を開け、アルマイト加工を行うと、エンザートが割れる場合があるのでエンザートの使用をさせて下さい。

【エンザート加工の試作】

- 下穴径を選定する際、上記のように不確定な要素が多いためエンザートを初めて使用される場合は必ず試作を通し経験的に下穴径を選定下さるようお願いします。

△【小さ過ぎる下穴の弊害】

- エンザートの加工では常に刃先を相手材にセルフ・ロックさせることが大切です。
- 使用する相手材に対して下穴径が小さ過ぎる場合は加工中にピッチ遅れが生じたり相手材のねじ山破壊が生じる可能性があります。
- こうした不完全なセルフ・タップは加工トルクが大きくてセルフ・ロックがうまく働かないため加工後の緩みや抜けの原因になります。
- 過大な加工トルクはエンザート工具の先端スタッドやベアリングの破損を招きます。

【下穴径の目安】

- プラスティック及びアルミニウムで特に被削性の悪い材質は試作を通して下穴径を設定する必要があります。
- 下記は一般的に使われている素材の下穴径の目安として参考して下さい。

相手材	エンザートのタイプ	*ひっかかり率
■可塑性の高いプラスティック、 硬質木材	302型	50～60%
■硬質樹脂	302型	40～50%
■SMC、BMC	307/308型	60～70%
■快削性のあるアルミニウム ■强度の高いアルミニウム等	302型	40～50%
	307/308型	50～60%

*5ページの下穴径参考値表の最下欄参照

加工不良の原因

- エンザートは部品加工の最終段階に多く使われます。
- 加工の最後に手痛い失敗をしないために下記に留意下さい。

△【小さ過ぎる下穴径】

- 下穴径が小さ過ぎると加工トルクが許容トルク以上になり専用工具の先端スタッド及びベアリングの破損を招きます。
- 挿入加工の最後の段階でエンザートの一回転に対して外ねじーピッチの送りが十分に出来なくなるピッチ遅れの原因になります。
- ピッチ遅れが生じると挿入加工の前半より後半のピッチ送りが小さくなりエンザートが軸上方に強く圧迫されます。
- その結果加工トルクが必要以上に大きくなると同時に、前半と後半のピッチ送りの差異により母材とエンザートとの間のねじ部全体が損傷を受けエンザートの緩みの大きな原因になります。

△【ベアリングの破損】

- 620,621工具をベアリングが破損したまま使用すると挿入したエンザートが工具について抜けてくることがあります。
- 破損した場合は別売のスペアベアリングと交換して下さい。

△【ワークと専用工具の衝突】

- エンザートが定寸深さ以上入ると工具がワークに衝突し工具やワークを破損します。
- 工具がワークに接触した後に更に回転が加わると、セルフ・タップ部の破壊が起り緩みの原因になります。
- 機械加工の場合は機械側で加工深さを事前に設定するようにして下さい。

【切粉の排出】

- 切粉をスムースに排出するため307型や別作した短寸のエンザートを使用する時は工具先端のスタッドで割溝又は三つ穴を塞がないようにして下さい。
- スタッドの調節は13ページ下の図を参照して下さい。
- 610型ハンド工具の場合はグラインダー等で削り調節して下さい。

△【エンザートの傾き】

- エンザートをハンド加工する場合は喰い付き（1～2ピッチ）時点でX、Y、の2方向から合芯度を確めて下さい。
- 1/3～1/2以上入った後は立て直しは不可です。無理に立て直すと工具を破損します。

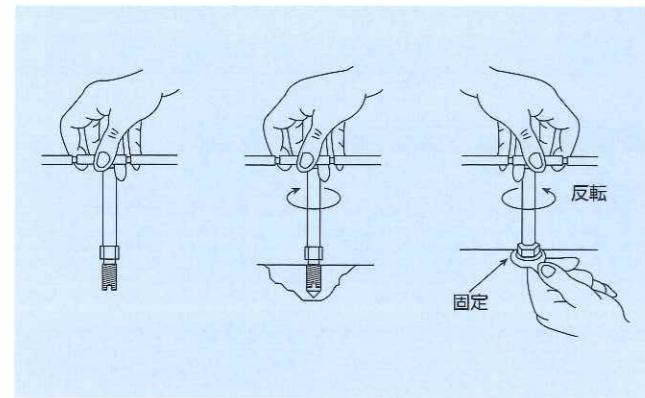
【切粉について】

- エンザートの加工にはセルフ・タップの副産物である切粉が出ます。
- 止り穴の下に溜った切粉は細軸の治具等で取り除いて下さい。
- 切粉を外に出さないチップフリーのエンザートもあります。

ハンド加工

○ハンド専用の610工具だけでなく機械用の620,621工具も使用できます。

【加工手順】



(1) 割溝又は三つ穴を下にしてエンザートを最後まで工具先端に取り付けます。

620,621工具を使う場合は必ずピンの位置を意識的に向かって左側に来るようして下さい。

(2) エンザートの喰付き時(1~2ピッチ)にX、Y、の両方向から下穴に対して傾きがないかチェックして下さい。

傾きがあれば工具を反転しないで立て直して下さい。

エンザートが $\frac{1}{3}$ ~ $\frac{1}{2}$ 以上入った後は立て直しは不可になります。

(3) 所定の位置まで入ればハンド専用610工具は六角部をスパナで固定しハンドル側を左へ反転すれば工具だけフリーになります。620,621工具はそのまま反転してください。

ボルトとナットを使う方法

○図の様に六角ナットをエンザートとダブルナット状にすればエンザートの加工が可能です。

○ボルトで割溝又は三つ穴を塞がないようにして下さい。

○加工が終ればボルトを固定しナットを緩めます。

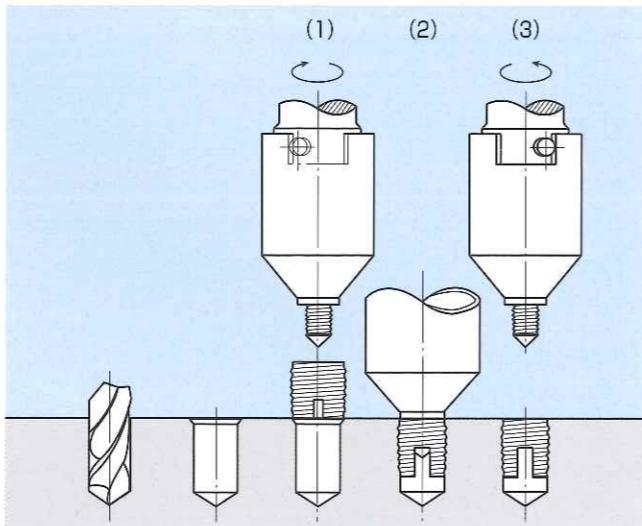
機械加工

○タッパー又はボール盤(反転位置を機械側で設定できるもの)を使用して下さい。

○目測による反転では専用工具とワークの衝突を完全に防げないため、加工不良の原因となります。

○専用工具の先端スタッドやペアリングを保護するためにも反転位置は事前に機械側で設定して下さい。

【加工手順】



(1) 割溝又は三つ穴を下にして、下穴の上にエンザートを真直ぐ置きます。機械の回転を利用して専用工具にエンザートを取り付けます。

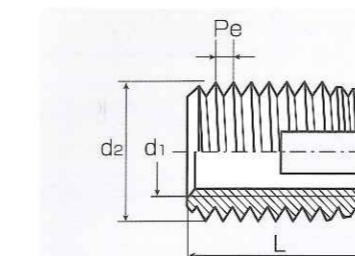
(2) エンザートが完全に専用工具に取り付いた時点で少し送りに圧力を加えればワークにエンザートが喰い付きます。その後は回転だけで下穴をセルフ・タップします。

(3) 事前に設定した加工深さで回転が反転すればピンの位置が右に移動し、専用工具だけがリリースされます。

【各タイプサイズ表】

302型

割溝タイプ



材質

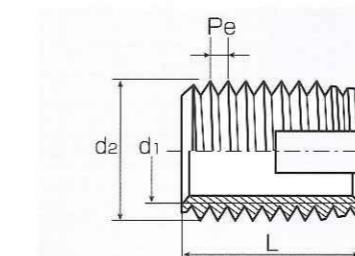
- 快削鋼 SUM22L(相当) 三価クロメート [112]
 - 快削鋼 SUM22L(相当) 六価クロメート [160]
 - ステンレス鋼 SUS430F(相当)M16まで [400]
 - ステンレス鋼 SUS303(相当)M20まで [500]
 - 真鍮 C3603(相当) M16まで [800]
- (下穴径: 5ページの302型の欄を参照)

品番	内ねじ		外ねじ		長さ		
型式	サイズ	材質	d1	P	d2	Pe	L
302 000 025.	[]	M 2.5	0.45	4.5	0.5	6	
—	030. []	M 3	0.5	5	0.5	6	
—	035. []	M 3.5	0.6	6	0.75	8	
—	040. []	M 4	0.7	6.5	0.75	8	
—	050. []	M 5	0.8	8	1.0	10	
—	061. []	M 6a	1.0	9	1.0	12	
—	060. []	M 6	1.0	10	1.5	14	
—	080. []	M 8	1.25	12	1.5	15	
—	100. []	M 10	1.5	14	1.5	18	
—	120. []	M 12	1.75	16	1.5	22	
—	140. []	M 14	2.0	18	1.5	24	
—	160. []	M 16	2.0	20	1.5	22	
—	180. []	M 18	2.5	22	1.5	24	
—	200. []	M 20	2.5	26	1.5	27	
—	220. []	M 22	2.5	26	1.5	30	
—	240. []	M 24	3.0	30	1.5	30	
—	270. []	M 27	3.0	34	1.5	30	
—	300. []	M 30	3.5	36	1.5	40	

公差: ISO 2768m 内ねじ: メートル並目ISO 6H 外ねじ: ワークス standard

303型

小外径割溝



材質

- 快削鋼 SUM22L(相当) 三価クロメート [112]
- 快削鋼 SUM22L(相当) 六価クロメート [160]

材質品番

品番	内ねじ		外ねじ		長さ		
型式	サイズ	材質	d1	P	d2	Pe	L
303 000 030.	[]	M 3	0.5	4.5	0.5	6	
—	035. []	M 3.5	0.6	5	0.6	6	
—	040. []	M 4	0.7	6	0.7	6	
—	050. []	M 5	0.8	7	0.8	8	
—	060. []	M 6	1.0	8	1.0	10	
—	080. []	M 8	1.25	10	1.25	12	
—	100. []	M 10	1.5	12	1.5	15	

公差: ISO 2768m 内ねじ: メートル並目ISO 6H 外ねじ: ワークス standard

インチねじ

UNC,UNF,WHIT

材質

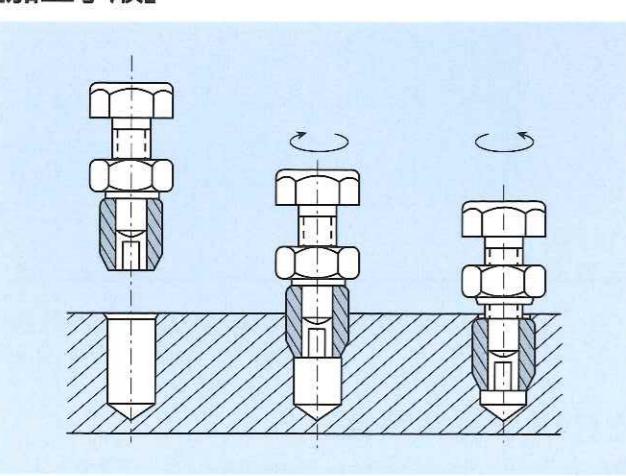
- 快削鋼 SUM22L(相当) 六価クロメート [160]

特注品のためサイズによって在庫のない場合があります。
(下穴径: 5ページの302型の欄を参照)

サイズ	UNC品番	UNF品番	WHIT品番	外寸は302型と同じ
No. 8	302 000 608. 160	302 000 708. 160	—	302 000 040
No.10	— 610. —	— 710. —	—	— 050
1/4"	— 625. —	— 725. —	— 525. —	— 060
5/16"	— 631. —	— 731. —	— 531. —	— 080
3/8"	— 637. —	— 737. —	— 537. —	— 100
7/16"	— 644. —	— 744. —	— 544. —	— 120
1/2"	— 650. —	— 750. —	— 550. —	— 140近似
5/8"	— 662. —	— 762. —	— 562. —	— 160
3/4"	— 675. —	—	—	— 200

(307/337/338型にサイズによってはインチねじの在庫があります。
詳細は、営業社員にお問い合わせ下さい。)

【加工手順】





ケー・ケー・ヴィ・コーポレーション 株式会社

本社工場 ドイツ、バーバリア州、アンペルグ市

<http://www.kkv.co.jp>

〒536-0016 大阪市城東区蒲生4丁目14-13

TEL (06) 6786-1122 FAX (06) 6786-1123

No.3

●仕様は予告なく変更する場合もありますので、ご了承下さい。
●無断転載禁止